

桃咲く里

佐久市立平根小学校

学校だより1月号

令和7年1月24日

文責：教頭 酒井 直治

3学期始業式

令和7年が始まり、学校では登校日数42日間と最も短い3学期が始まりました。子どもたちには、一年間で成長した自分を実感し、次の学年に向けて希望を抱けるような時間を過ごしてほしいと思います。

さて、3学期の始業式では、2、3、6年生の代表児童が新年の抱負や3学期に頑張りたいことを発表してくれました。なりたい自分を言葉にして発表したことで決意もより強まったと感じました。学校長からは、「一年の計は元旦にあり」という言葉から、めあてを持つことは新しいことの始まりであり、発表してくれた代表児童のようにめあてをもち、なりたい自分に向かって努力をしてほしいという話がありました。また、興味をもったことをどんどん調べてほしい、思いついたことはすぐ始めてほしいという願いから、学校長自ら巳年にちなんで蛇について調べたことを三択クイズにして出題しました。①蛇の背骨は何本か？②蛇がよく舌を出すのはなぜか？③蛇のマークがある車は何？というクイズで、子どもたちは楽しんで答えていました。最後に本気で努力したことは成績に表れないかもしれないが、探究心と行動力を伸ばして生活を豊かにしてほしいとお話がありました。引き続き、受け身ではなく、自発的に調べて知識や技能を獲得していける子どもたちを育てていきたいと思えます。



6年生から5年生へ

3学期が始まり、児童会引き継ぎに向けて5年生の活動が活発になってきました。児童会長候補が決まり、休み時間には廊下で投票を呼びかけたり、朝学活の時間には他学年の教室を訪問して、自分なりのビジョンを伝えたりしていました。いよいよ自分たちが児童会をリードしていくんだという雰囲気は5年生の姿から感じられました。そして、令和7年度の児童会役員を決める選挙が、1月23日（木）にタブレット機能を利用したオンライン投票で行われ、児童会長と副会長が選出されました。5年生はこれから委員長を決めたり、やってみたいことを考えて計画を立てたりして、自分たちが中心になって進めていく土台を固めていきます。3年生、4年生と力を合わせて、児童会活動を自発的に盛り上げ、より良い平根小学校にしてほしいと思います。6年生は今後、後輩に引継ぎを行い、卒業式と中学校進学へ向けた準備に入っていきます。1年間、学校の先頭に立ち様々な活動をリードしてくれた6年生ありがとうございました。



講師の方、ボランティアの方をお招きして

1月21日（火）4年生の音楽の授業において、日本古来の音楽文化に触れる目的で講師として渡邊 岡真翠（おかしんすい）先生をお招きし、琴とふれ合う学習をしました。4年生の子どもたちは興味深そうに音を出して音色を楽しんだり、リズムを合わせて演奏したりしました。琴を通して古人の感覚を感じることに繋がったのではと感じました。楽器から当時の人の感覚に心を寄せたり、自分の世界観を広げたりすることにつながってほしいと思います。また、5年生の家庭科の授業で行っているミシンの学習に5名のボランティアの方にご協力いただいています。安全確保に配慮していただき、糸のかけ方や操作について補助して教えてくださいました。ボランティアの方が近くでやって見せてくださるので子どもたちは安心して学習に取り組むことができました。2月上旬までご協力いただきます。よろしく願いいたします。



地域の皆様の善意より

地域の皆様から学校に持ち込んでいただいているアルミ缶やペットボトルを換金して、児童用にハンガーパイプを購入させていただきました。今までロッカーが小さいため防寒着を入れると外に落ちてしまったり、雨や雪に濡れたままロッカーに入れて乾かなかつたりという問題がありました。ハンガーにかけて干せるようになり、下校時にはいくらか乾いた状態で着用できるようになりました。ご協力ありがとうございました。

